再評価結果（平成２５年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局国道･防災課
担当課長名：　三浦　真紀

事業名	地域高規格道路　鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道１７８号　浜坂道路	事業区分	一般国道	事業主体	兵庫県
起終点	自:美方郡香美町香住区余部　　至：新温泉町栃谷			延長	9.8km

事業概要

鳥取豊岡宮津自動車道は、環日本海地域における交流を強化する広域高速道路ネットワークを形成する地域高規格道路である。浜坂道路は、鳥取豊岡宮津自動車道の一部を構成し、高速道路空白地帯である日本海沿岸地域の活性化、3次救急医療機関へのアクセス性向上、異常気象時通行止め区間等の現道の悪条件の解消を図る、延長9.8kmの２車線道路である。

H20年度事業化		H22年度用地着手		H23年度工事着手	
全体事業費	298億円	事業進捗率	21%	供用済延長	0km
計画交通量	6,800台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体) 1.2 (残事業) 1.6	(残事業)/(事業全体) 208/270億円 事業費：199/261億円 維持管理費：9/9億円	(残事業)/(事業全体) 327/327億円 走行時間短縮便益：254/254億円 走行経費減少便益：57/57億円 交通事故減少便益：16/16億円	平成２４年

感度分析の結果

(事業全体)	交通量	B/C=	～	(交通量 ±10%)	(残事業)	交通量	B/C= ～ (交通量 ±10%)
	事業費	B/C=	～	(事業費 ±10%)		事業費	B/C= ～ (事業費 ±10%)
	事業期間	B/C=	～	(事業期間±20%)		事業期間	B/C= ～ (事業期間±20%)

事業の効果等

- 緊急輸送路に指定されている現国道178号の異常気象時通行止め区間、幅員狭小トンネル、線形不良区間、急勾配区間の回避
- 3次救急医療機関へのアクセス性向上による救急医療体制の確保
- 地域間交流の促進、地域産業の活性化、観光振興等、地域の自立的、主体的な活動を支援

関係する地方公共団体等の意見

但馬地域の全市町で構成する但馬・地域高規格道路推進協議会等から、鳥取豊岡宮津自動車道の早期整備が要望されている。

事業評価監視委員会の意見

本道路は、山陰海岸ジオパーク内のジオサイトを結ぶ基幹道路であり、観光振興に寄与することから、観光部局とも連携を図り、様々な取り組みに努められたい。また、当該事業区域周辺には、貴重植物であるミツガシワが確認されていることから、事業実施にあたっては、その保全に努められたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

東日本大震災により、高速道路が大規模災害時に果たす役割が改めて見直された。また、北近畿豊岡自動車道の供用など、浜坂道路周辺の広域高速道路ネットワークの形成が進んでいる。

事業の進捗状況、残事業の内容等

概ね用地買収は完了しており、新桃観トンネル、大庭大橋などの大規模構造物の工事を推進している。今後もトンネル工事や橋梁工事に順次着手していく。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

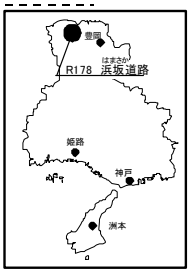
平成20年度に事業着手し、順調に進捗している。今後、工事がピークとなることから、必要な予算を確保し、平成29年度の供用開始を目指す。

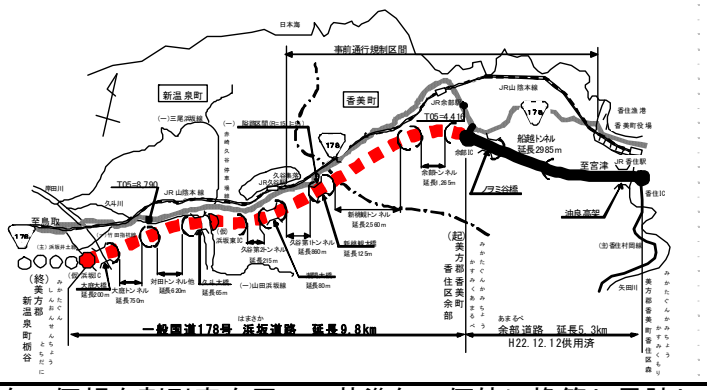
施設の構造や工法の変更等

現場地質調査の結果、一部、地盤が軟弱な区間について、盛土から橋梁（長谷橋）への構造変更を行う。

対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を踏まえると、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図





※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。